

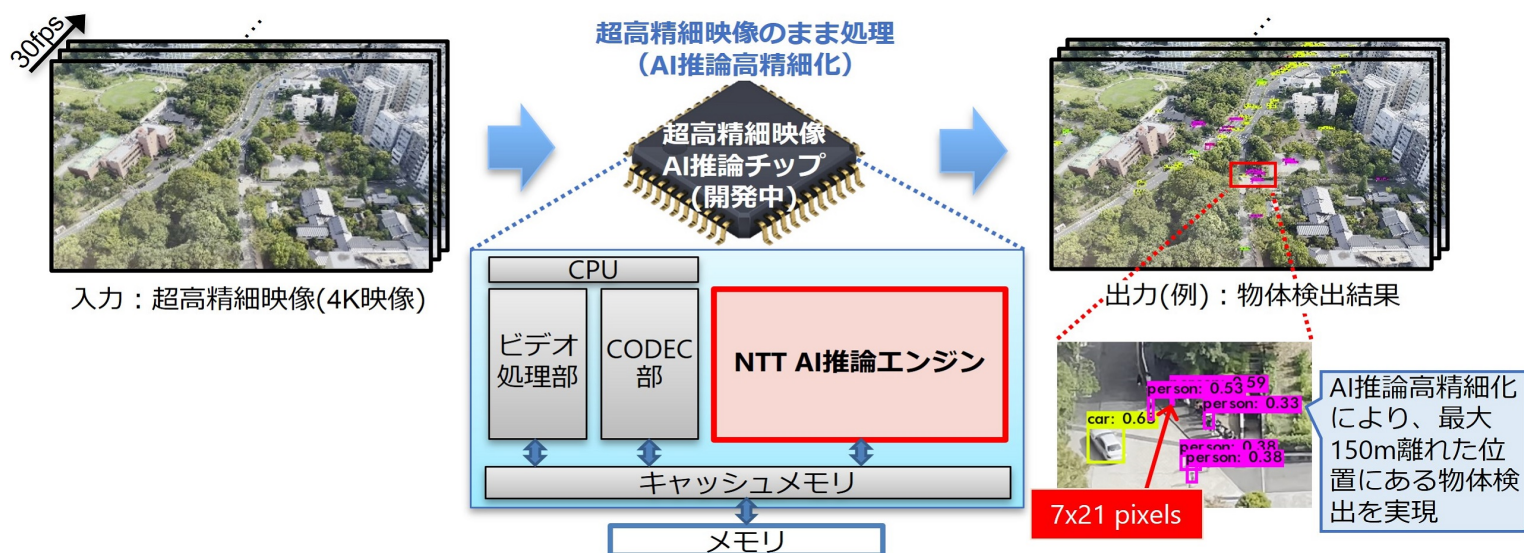


背景

近年、映像AIを活用した業務や生産の効率化がますます重要になっています。その一方で、市中技術では、解像度、消費電力、リアルタイム性の面で課題があります。NTTでは映像AIに特化したハードウェア技術により本課題の解決に取り組んでいます。

成果の概要

4Kなどの超高精細映像に対して、リアルタイムかつ低電力でAI推論処理の実行を可能にする、独自AI推論エンジンを搭載した半導体チップの開発を進めています。本展示では、開発中のチップと処理等価なシミュレーションモデルを用いて、4K映像からの物体検出デモを行います。



技術のポイント

- AI推論手法による解像度制約を超高精細映像（例：4K）にまで拡張する技術
- 上記技術をリアルタイムかつ低電力で実行可能にするハードウェアエンジン

この研究がもたらす未来

ドローンの飛行ルート下の通行検出、人混みの中の危険人物や港湾での不審船などの検出が可能になります。また、イベントドリブンで必要部分をデータ圧縮してのクラウド送信も可能となります。

コラボレーションパートナー

ArchiTek株式会社

出展企業

日本電信電話株式会社、NTTイノベティブデバイス株式会社

問い合わせ先

rdforum-exhibition@ml.ntt.com